

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	健康推進課長 村下 伯	電話番号	0852-22-5248
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	不妊治療支援事業		
目的	(1) 対象	不妊に悩む夫婦	
	(2) 意図	子どもを産み育てることを望む夫婦の希望を叶えるために、不妊検査・治療を促進する。	
事業概要	○特定不妊治療費助成：特定不妊治療（体外受精・顕微授精）を受けた夫婦に対して、費用の一部を助成する。 ○男性不妊検査費助成：男性の早期からの不妊治療参加を促進するため、男性不妊の検査を受けた夫婦に、費用の一部を助成する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 助成件数	目標値		1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0	件
		取組目標値						
	式・定義 助成件数（H27年度は特定不妊のみ）	実績値	977.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	133,215	192,265
うち一般財源 (千円)	58,865	97,150

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> 特定不妊治療費助成 H25年度862件、H26年度934件、H27年度977件 男性不妊検査費助成 今年度新規事業のため実績なし

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> 男性不妊治療費への助成がH28年1月から開始されたことで、これまで助成対象でなかった男性不妊への支援が可能となった。
--

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> 晩婚化による不妊に悩む夫婦の増加。 男性の不妊治療への参加が遅い。
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊孕性や男性不妊への理解が不十分である。
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊孕性や男性不妊に係る意識啓発等が必要である。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> 引き続き各種助成制度の周知を図っていくとともに、妊孕性・男性不妊について意識啓発を図る。
--

9. 追加評価（任意記載）

--

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。